



東京2020大会へ
チーム伊豆市の軌跡
Road to 2020

市民との取り組み

みんなの 力と想いが ひとつに

東京2020大会自転車競技の開催地として大会を盛り上げ、また伊豆市の魅力を伝えるため、東京五輪音頭-2020-やおもてなしのための清掃、花育成など、様々な取り組みに多くの市民が参加した。



Road to 2020
Pick up!!

写真撮影会 in 伊豆ベロドローム



市民みんなで
東京2020大会を
盛り上げよう



2018年11月28日(水)、『伊豆市版東京2020大会ガイドブック』に掲載するため、伊豆ベロドロームで、市民約700人による写真撮影を行なった。

生後7か月の赤ちゃんから80代までの伊豆市在住・在勤・在学者が伊豆ベロドロームに集まり、学校の制服・ジャージや所属する団体のユニフォーム、職場の制服・作業服などの思い思いの服装で撮影を行ない、東京2020大会自転車競技の伊豆開催を国内外に発信するとともに、大会に向けた開催機運を醸成した。

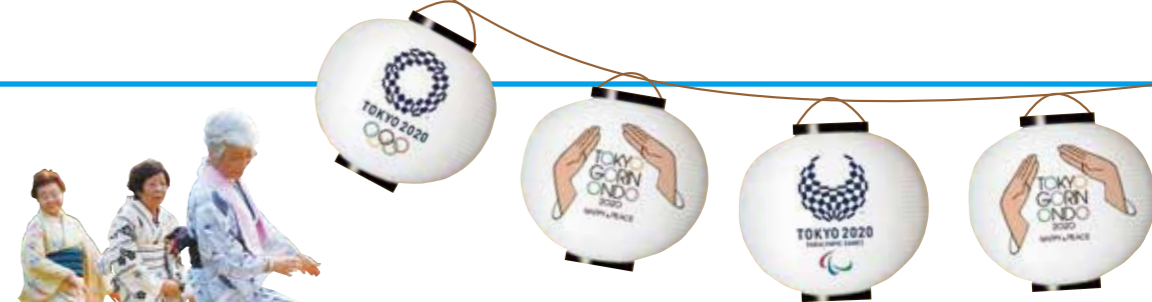


2020

東京五輪音頭



子どもから大人まで
みんなで踊って
心を一つに



2019年度 伊豆市内で行なわれた 東京五輪音頭-2020-

2018年度 伊豆市内で行なわれた 東京五輪音頭-2020-

- 8月1日(水) 修善寺盆踊り
- 8月2日(木) 修善寺駅前まつり
- 8月8日(水) ル・グランガーデン修善寺夏祭り
- 8月11日(土・祝) 下松原夏まつり
天城夏祭り
- 8月16日(木) 伊豆市包括支援センター連絡会
- 8月25日(土) 本立野守本尊祭典
- 9月6日(木) 伊豆市老人クラブ連合会役員会
- 9月12日(水) 修善寺地区民生児童委員
協議会定例会
- 10月6日(土) 熊坂子ども園運動会
- 10月10日(水) 修善寺地区民生児童委員
協議会定例会
- 10月20日(土) 八幡子ども会
- 10月20日(土)・
21日(日) 伊豆市民文化祭
- 10月21日(日) 修善寺駅ハロウィンイベント
- 10月29日(月) 中伊豆地区月曜会・ロコトレOB会
- 11月6日(火) 伊豆市民生児童委員
協議会合同研修会
- 11月18日(日) 西豆地区地域づくり協議会まつり
- 12月6日(木) 伊豆市健康づくり
食生活推進協議会定例会
- 12月6日(木) 生きがい友の会運動会
- 12月14日(金) 月ヶ瀬学区地域づくり協議会
- 1月16日(水) 3市1町議会議員政策支援研修会
- 1月19日(土) 天城デイサービス
- 1月25日(金) 伊豆市健康づくり
食生活推進協議会定例会
- 2月15日(金) 介護予防ボランティア
フォローアップ講座
- 2月17日(日) 伊豆月ヶ瀬梅林梅まつり
- 3月27日(水) 大藪神社祭典
- 3月31日(日) 旧湯ヶ島小学校ライトアップ

- 5月25日(土) サイクルフェスティバル伊豆2019
- 5月30日(木) 認定こども園あゆのさと夏祭り
- 6月1日(土) 熊坂小学校運動会・
修善寺小学校運動会
- 7月10日(水) サロン踊り子
- 7月13日(土)・
14日(日) 天王祭
- 8月1日(木) 修善寺盆踊り
- 8月2日(金) 修善寺駅前まつり
- 8月3日(土) 西平温泉観音まつり
- 8月4日(日) 伊豆中央ケアセンター納涼祭
- 8月10日(土) 月ヶ瀬区吉奈川組夏祭り
- 8月15日(木) 宿ふれあいサロン
- 8月16日(金) 大藪盆踊り
- 8月22日(木) ロコモ体操
- 8月24日(土) 駿豆学園納涼祭
- 8月27日(火) 大平区老人クラブ
- 9月11日(水) サロン踊り子
- 9月21日(土) 土肥小中一貫校桜翔祭(体育祭)
- 9月21日(土) 中伊豆中学校緑流祭(体育祭)
- 9月25日(水) 天城湯ヶ島地区
民生児童委員デイサービス交流会
- 10月5日(土) 熊坂子ども園運動会
- 10月5日(土) 修善寺東子ども園運動会
- 10月6日(日) 修善寺ニュータウン自治会お祭り
- 10月26日(土) 伊豆市社会福祉大会
- 10月29日(火) 伊豆市健康づくり
食生活推進協議会定例会
- 11月1日(金) 血管若返り教室
- 11月3日(日・祝) きのご祭
- 11月6日(水) 伊豆市民生児童委員
協議会合同研修会
- 11月7日(木) ヘルシークッキング教室
- 12月12日(木) 月ヶ瀬ふれあいサロン

『東京五輪音頭-2020-』とは、東京2020組織委員会が東京2020大会に向けて機運を醸成するため、1963年に制作された『東京五輪音頭』を東京2020大会版としてリメイクしたものである。

伊豆市は、東京2020大会開催の2年前となった2018年7月24日(火)から、職員有志による『東京五輪音頭-2020-』の練習を開始した。

同年10月には、職員が講師となり伊豆市民文化ホールで市民による練習会を実施(全4回、262人参加)。また同年12月には中伊豆小学校(1~6年生・245人参加)で、翌2019年2月には中伊豆中学校(1・2年生92人参加)で、職員を講師とした練習会を実施した。

約2年間で、小中学校の運動会や、地域の祭り・イベントでも、『東京五輪音頭-2020-』が盛んに踊られた(約80のイベントで、約5300人が踊った)。

Message 担当者の声



伊豆市
東京オリンピック・パラリンピック推進課
わたなべ まゆ
渡邊 麻友

市職員で練習を始めた『東京五輪音頭-2020-』が、次第に広がり、子どもから大人まで多くの市民の皆さんに踊っていただけて、とても嬉しく思っています。踊りを通じて、大会に関わっていただき、感謝しています。

参加者の声



保育士・幼稚園教諭
さえぐさ
三枝 あゆみ

踊りが好きな母の影響で、毎年修善寺の盆踊りに参加していることから、『東京五輪音頭-2020-』にも参加するようになりました。大人も子どもと一緒に踊れるのは良いですね。みんなで楽しみながら、大会を盛り上げていきたいです。

伊豆ベロドロームでウォーキング(伊豆市げんきプロジェクト事業)



2017年3月11日(土) 参加者数約160人
2018年1月20日(土) 参加者数約200人
伊豆ベロドローム

伊豆市は、『減塩(げ)・運動(ん)・禁煙(き)』の3柱を推進する伊豆市げんきプロジェクトの一環として、東京2020大会自転車競技会場である伊豆ベロドローム走路を歩く体験イベントを実施。大会に向けた機運醸成を図るとともに、市民の健康づくりにも取り組んだ。



市民によるミニひまわり育成

2021年4月19日(月)
伊豆市役所

伊豆市はパラリンピック開催期間中(8月24日(火)~9月5日(日))に、ラフォーレリゾート修善寺付近の沿道を装飾するミニひまわり(400鉢)を育てる市民を募集した。71組86人の市民が育てたミニひまわりで、選手や大会関係者をおもてなした。



2021年6月6日(日)
大野地区

自転車競技会場の地元である大野地区では、観戦客をもてなすため、ミニひまわりの植え付けが行なわれた。ミニひまわりは市から提供した、ビッグスマイルという品種。区民が大切に種から育てた苗200本を、観戦客が通る道路沿いの花壇に14人が手分けをして植えた。



伊豆市民
さくらい みすず
櫻井 美鈴

コロナ禍で選手たちへの声援を直接送れない中、ひまわりを通じて応援したい気持ちでいっぱいでした。子どもたちが学校で大会に向けてアサガオを育てていると聞き、ひまわりで大会に関わりたと思いました。

伊豆市花と緑のおもてなし空間整備事業

2019年3月8日(金)、5月29日(水)、12月19日(木)
2020年6月5日(金)、12月1日(火)、
2021年7月9日(金)
修善寺駅

伊豆市を訪れる観光客に伊豆市の魅力を発信するために、東京2020公認プログラムとして、修善寺駅を季節の花で飾る『伊豆市花と緑のおもてなし空間整備事業』を実施した。13団体から約20人が参加し、定期的にプランターの花の植え替えなどを行なった。



おもてなし大作戦 in 修善寺駅

2021年3月20日(土)
修善寺駅周辺

東京2020大会自転車競技の開催に向けた機運醸成と、地域連携を図るために、修善寺駅周辺の一斉清掃を実施した。市民有志や周辺企業などの約100人が参加し、駅周辺のゴミ拾い、手摺りやベンチの拭き掃除などを行なった。1時間の作業で、約50kgのゴミを収集することができた。



ユニバーサルツーリズム研修会

2018年6月21日(木)
参加者数67人
修善寺総合会館

東京2020大会のコンセプトの一つ『多様性と調和』を実現するために、年齢や障がいの有無に関わらず旅行を楽しむことができる『ユニバーサルツーリズム』の研修会を開催した。研修会では、バリアフリー旅行事例について講演、車いすサポートのポイントなどを学んだ。



2018年9月26日(水)
参加者数23人
修善寺総合会館

第1回の内容をさらに深掘りし、車いす体験、アイマスクを使った手引き体験などを学んだ。また、各団体からの取り組み事例、研修会で『気づき』についての意見交換を行なった。

パラリンピック競技体験会

実際に触れ、競技を体験することでパラリンピックへの興味・関心を深めるために、2019年5月から毎月1回、『パラリンピック競技体験会』を実施した。体験会は伊豆市スポーツ推進委員会が主催となり、NEC(日本電気株式会社)の協力のもと、参加者延べ約660名が、ポッチャやブラインドサッカーなどパラリンピック競技を体験した。また、市内小学校への出前教室でもポッチャ体験会を開催した。



実施回数	
2019年度	11回
2020年度	10回
2021年度	12回
各回約20人が参加	

2019年5月～2021年度末
狩野ドーム



都市鉱山からつくる!みんなのメダルプロジェクト

2017年4月から2019年3月まで、使用済み携帯電話等の小型家電等から金属を集めて、東京2020大会の金・銀・銅メダルを製作する『都市鉱山からつくる!みんなのメダルプロジェクト』が実施された。伊豆市でも、市役所本庁、各支所、生きいきプラザ、清掃センター、土肥リサイクルセンターに回収ボックスを設置。携帯電話など603個/66.3kg、メダル3個分の材料を回収した。なお全国では、オリンピック・パラリンピックの金・銀・銅あわせて約5,000個のメダルに必要な金属量を100%回収することができた。



2017年4月～2019年3月
市役所本庁 他

市民向け英会話動画撮影

2021年4月15日(木)
修善寺駅

伊豆市内を今後訪れる外国人に、市民が簡単な英会話でコミュニケーションを取れるようにと、英語の簡単なフレーズやアプリケーションでの対応方法を、動画配信で紹介。5月28日(金)～7月23日(金・祝)までの、全9回にわたる動画のうち、第8回はオンラインで市民との交流を行なった。



市民向け英会話動画配信

- | | | |
|------------|-----|--|
| 5月28日(金) | 第1回 | みんなではじめよう、おもてなしちょこっと英会話 |
| 6月4日(金) | 第2回 | ①トイレはどこですか?
②アメリカドルを日本円に替えたいです。
③何か飲み物を買いたいです。 |
| 6月11日(金) | 第3回 | ④フリーWi-Fiはありますか。
⑤携帯電話を充電したいです。
⑥パスポートを落としてしまいました。 |
| 6月18日(金) | 第4回 | ⑦聖火リレーの会場はどこですか?
⑧何時からスタートしますか? |
| 6月25日(金) | 第5回 | ⑨おすすめの観光スポットはありますか?
⑩富士山を見たいです。 |
| 7月2日(金) | 第6回 | ⑪自転車に乗りたいのですが…
⑫恋人岬に行きたいです。 |
| 7月9日(金) | 第7回 | ⑬体調が悪いです。
⑭東京に行きたいです。 |
| 7月15日(木) | 第8回 | 開催まであと1週間 市民からの質問タイム |
| 7月23日(金・祝) | 第9回 | 東京2020大会開幕 これまでの振り返り・まとめ |

Message 英会話動画講師の声

温泉・食事・景色、そして豊かな自然に触れ合える伊豆の街。東京2020大会の自転車競技開催会場となり、選手の中には初めて伊豆を訪れる人たちも多いはず。それは街の美しさを知ってもらいたいチャンスになります。"WELCOME!"と楽しむコミュニケーションを通じ、伊豆で行われる特別な東京2020大会に精一杯応援の声を届けたいです。海外の方が、伊豆で触れる日本の美意識。私たちも沢山の経験をし、未来へつなげる思い出に変えていきたいです。

日本大学 国際関係学部
うちだ ヴァーラ 内田 エイドリアン (左)・熊木 秀行 (右)



東京2020大会へ
チーム伊豆市の軌跡
Road to 2020

次の世代へ

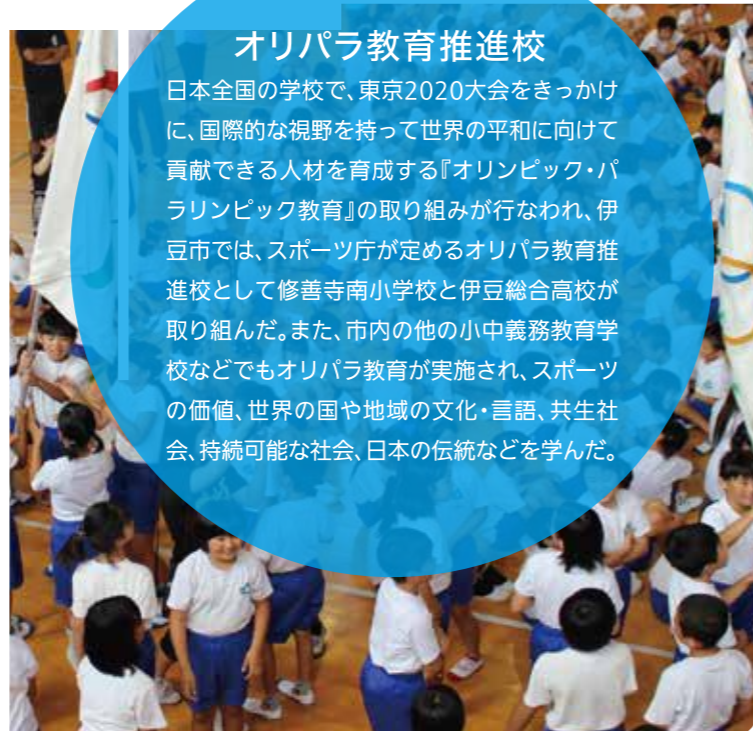
未来を担う 子どもたちと 一緒に

東京2020大会自転車競技伊豆開催のレガシーを、次の世代へ受け継いでいくために、未来のまちづくりを担う子どもたちが大会関連の様々な取り組みに参加した。



オリパラ教育推進校

日本全国の学校で、東京2020大会をきっかけに、国際的な視野を持って世界の平和に向けて貢献できる人材を育成する『オリンピック・パラリンピック教育』の取り組みが行なわれ、伊豆市では、スポーツ庁が定めるオリパラ教育推進校として修善寺南小学校と伊豆総合高校が取り組んだ。また、市内の他の小中義務教育学校などでもオリパラ教育が実施され、スポーツの価値、世界の国や地域の文化・言語、共生社会、持続可能な社会、日本の伝統などを学んだ。



次の世代へ

オリパラフラッグの 市内小中学校巡回展示

2017年8月28日(月)・29日(火)・30日(水)・
9月8日(金) 伊豆市内小中学校



伊豆市内全小中学校で、リオデジャネイロ2016大会から引き継いだオリンピック・パラリンピックフラッグの巡回展示を行なった。児童・生徒の東京2020大会に対する興味を喚起するとともに、東京2020大会の開催に向けた機運醸成を図った。

2017年8月28日(月)



土肥小学校

土肥中学校

天城中学校

修善寺中学校

2017年8月29日(火)



修善寺東小学校

修善寺小学校

熊坂小学校

天城小学校

2017年8月30日(水)



中伊豆小学校

中伊豆中学校

修善寺南小学校

2017年9月8日(金)

市内小学生によるマスコット投票

2017年12月11日(月)~2018年2月22日(木)
伊豆市内全小学校



東京2020大会では史上初の試みとして、全国の小学生による投票でマスコットの選定が行なわれた。2017年12月11日(月)~2018年2月22日(木)の期間中、伊豆市でも全7校1,207名の児童が投票に参加した。全国での投票の結果、東京2020大会のオリンピックマスコットに『ミライトワ』、パラリンピックマスコットに『ソメイティ』が決定。伊豆市では大会を身近に感じてもらうため、市内のこども園、保育園、小中義務教育学校の全クラスに、東京2020オリンピック・パラリンピックマスコットを配布した。2018年12月21日(金)には、土肥小中一貫校にてマスコット贈呈式を行なった。

Message 『マスコット投票』に参加して

東京オリンピック・パラリンピックが近づいていることを実感しました。伊豆市で自転車競技が開催されるので盛り上げていきたいです。



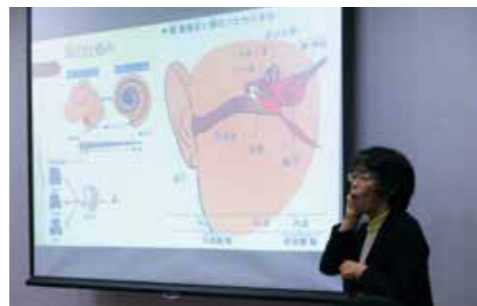
土肥小中一貫校
8年生
くにしま ゆうご
国嶋 悠悟 さん

手話講座

2019年2月23日(土)、東京2020公認プログラムとして、伊豆市中学生・高校生手話講座を開催した。9人の生徒たちが手話によるコミュニケーションを実践形式で学んだ。その後も定期的開催し、簡単な手話をテーマに、ひらがなや数字・地名などの指文字や「こんにちは」「ありがとう」などを学んだ。



2019年2月23日(土)
生きいきプラザ



伊豆市国際交流員 異文化理解出前講座

2017年11月~2019年6月
伊豆市内全こども園・保育園・小中学校など



タナー・タラーリ国際交流員

東京2020大会自転車競技(トラック・レース/マウンテンバイク)の開催地として多文化理解の素地を養うために『異文化理解出前講座』を開催した。国際交流員が、市内の全こども園・保育園、全小中学校、放課後児童クラブなどを訪れ、子どもたちが言語や文化の違いについて体験的な理解を深めるための機会を提供した。

2017年度	こども園・保育園(7園)188人 小中学校(11校)1899人 放課後児童クラブ(7つ)187人
2018年度	こども園・保育園(7園)260人
2019年度	こども園・保育園(7園)170人

伊豆市国際交流員 オリンピック・パラリンピック出前講座

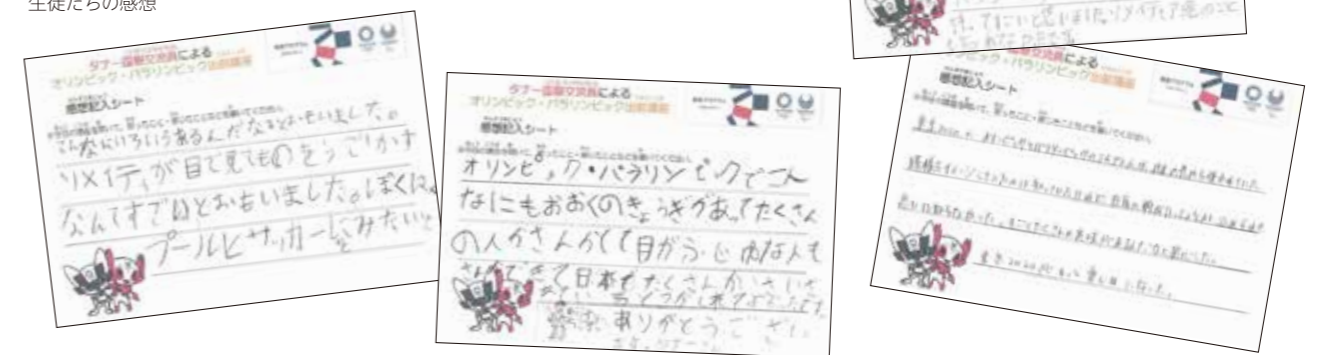
2018年10月~2019年3月
伊豆市内小中義務教育学校



タナー・タラーリ国際交流員が、言語や文化の違い、オリンピック・パラリンピックへの体験的な理解を深めるため、市内の全10校全学年クラス(1,824人)を対象に授業を実施した。日本語と英語の2言語で東京2020大会の日程や競技などの概要、オリンピック・パラリンピックの目的やシンボルなどについて伝えた。



生徒たちの感想



ランニングバイク出前教室

2017年から、自転車に親しみきっかけづくりのため、市内のこども園・保育園の5歳児を対象にランニングバイク出前教室を実施。日本サイクルスポーツセンターの職員が、園児たちにランニングバイクの正しい乗り方を指導した。2018年からは、ブリヂストンサイクル(株)の協力の下、オリンピックや現役選手が子どもたちと交流した。東京2020大会終了後も、引き続き実施している。



2017年4月26日(水)～
市内のこども園・保育園



土肥こども園



あまぎ認定こども園



熊坂こども園



なかいず認定こども園



修善寺保育園



修善寺東こども園



認定こども園あゆのさと



実施日	会場	参加人数
2017年 4月26日(水)	あまぎ認定こども園	33人
5月 9日(火)	認定こども園あゆのさと	48人
5月17日(水)	なかいず認定こども園	34人
5月30日(火)	なかいず認定こども園	28人
5月31日(水)	修善寺保育園	16人
6月 6日(火)	修善寺東こども園	27人
2018年 5月 9日(水)	土肥こども園	24人
5月11日(金)	あまぎ認定こども園	26人
5月18日(金)	熊坂こども園	12人
5月22日(火)	熊坂こども園	14人
5月23日(水)	なかいず認定こども園	31人
5月28日(月)	修善寺東こども園	16人
6月 1日(金)	修善寺東こども園	17人
6月 4日(月)	認定こども園あゆのさと	31人
10月17日(水)	修善寺保育園	11人

実施日	会場	参加人数
10月22日(月)	なかいず認定こども園	28人
10月23日(火)	あまぎ認定こども園	35人
2019年 5月 8日(水)	認定こども園あゆのさと	47人
5月14日(火)	土肥こども園	17人
5月21日(火)	あまぎ認定こども園	37人
5月28日(火)	なかいず認定こども園	27人
5月29日(水)	修善寺東こども園	18人
9月27日(金)	修善寺保育園	22人
10月16日(水)	熊坂こども園	12人
2020年10月13日(火)	なかいず認定こども園	25人
10月20日(火)	修善寺東こども園	20人
10月28日(水)	修善寺保育園	14人
12月14日(月)	熊坂こども園	21人
2021年 3月 9日(火)	あまぎ認定こども園	31人

オリンピック・パラリンピック出前講座

2017年度から、伊豆市では『オリンピック・パラリンピック出前講座』として、市内の小中義務教育学校を訪問し、競技用自転車やDVDなどを活用したオリンピック・パラリンピック教育を行なう特別授業を開催した。2019年11月28日(木)に中伊豆中学校、翌29日(金)に修善寺東小学校にて、オリンピックやプロ選手が講師を務める特別授業を開催した。飯島誠さんによる講演と、徳田優選手・平塚吉光選手による競技用自転車の試乗体験などを行なった。

2019年11月28日(木)
中伊豆中学校



2019年11月29日(金)
修善寺東小学校



2021年6月11日(金)、ブリヂストンサイクル(株)による出前授業『オリンピック・パラリンピックが伊豆市にやってくる!』を天城小学校で行なった。授業は1・2年生・3・4年生・5・6年生に分かれ実施。シドニー・アテネ・北京オリンピックに出場した飯島誠さんが講師を務め、オリンピック・パラリンピックの歴史や自転車競技の種類など、クイズを織り交ぜて紹介し、自身の出場体験も語った。児童たちはトラック、ロード、MTBの競技用自転車の違いも学んだ。5月25日(火)には修善寺南小学校4年生、6月21日(月)には天城中学校2年生を対象に実施した。

2021年6月11日(金)
天城小学校



実施日	対象
2017年 4月25日(火)	天城中学校 1～3年生
2019年 11月28日(木)	中伊豆中学校 1～3年生
11月29日(金)	修善寺東小学校 1～6年生
2021年 5月25日(火)	修善寺南小学校 4年生
6月11日(金)	天城小学校 1～6年生
6月21日(月)	天城中学校 2年生

Message 校長先生の声



天城小学校校長 坪内 逸夫

今回本校の教員がオリンピック聖火ランナーを務めること、選手たちの練習風景を日頃目にしていることから、児童たちの大会への関心はとても高いです。一生に一度の思い出を作り、地元・伊豆に対して誇りを持つ機会となって欲しいです。

講師の声



ブリヂストンサイクル株式会社 スポーツ戦略部課長 小池 博文

自転車競技についてわかりやすくコンパクトに伝えられる授業を目指し、学年ごとに内容を変えて工夫を凝らしました。自転車に乗る楽しさ、競技を見る楽しさを知り、将来は競技にも挑戦したいと思う子が増えたら嬉しいですね。

日本代表チームのトレーニング見学会

2020年12月14日(月)・15日(火)、
2021年3月11日(木) 伊豆ペロドローム



JKA職員(左)と佐々木コーチ(右)

2020年12月14日(月)・15日(火)、2021年3月11日(木)、自転車競技(トラック・レース)日本代表チームのトレーニング見学会が開催された(主催:JKA)。会場の伊豆ペロドロームには、市内の中学校3年生が訪れ、バイク誘導、短距離ダッシュ、スタートなどの日本代表チームの練習を見学した。

また、見学会終了後、生徒たちは静岡県が実施している応援プログラムに参加、大型フラッグに日本代表選手への応援メッセージを書いた。



天城中学校3年生



中伊豆中学校3年生



修善寺中学校3年生

水口さんにメッセージを送ろう

2021年6月21日(月)、22日(火)
修善寺小学校



修善寺小学校1~6年生の児童が、東京2020オリンピック聖火リレーランナーの水口茂生さんへ送る応援メッセージを録音した。視覚障がい者で盲導犬と生活する水口さんは、毎年同校の4年生を対象とした学習で講師を務める。児童たちは日頃の感謝を込め、応援の言葉を伝えた。

ポッチャ体験会

2021年7月17日(土)
中伊豆社会体育館



伊豆市内の小学4~6年生の児童たちが参加するふるさと学級にて『パラスポ・軽スポ教室』が中伊豆社会体育館にて開催され、パラリンピックの正式競技である『ポッチャ』の体験などが行なわれた。指導員のサポートのもと、白いジャックボール(目標球)をめがけて赤・青のそれぞれ6球ずつのボールを転がしたり投げたりして、いかに持ち玉を近づけられるかを競い合った。児童たちは自身やチームメイト、相手が放ったボールの行方に一喜一憂しては、プレーを楽しんだ。



Message 担当者の声



伊豆市スポーツ推進委員
あいはら あきら
相原 昌

今回はポッチャの他にもモルック・キンボール・ドッチビーなどを行ない、子どもたちが飽きずに軽スポーツを体験してもらえるよう工夫しました。仲間と一緒にスポーツを楽しみ、健やかな心と体を育てていって欲しいと思います。

参加者の声



目標のボールに自分のボールを近づけたり、相手チームのボールを遠ざけたりするのは難しかったです。なかなか思うようには投げられないので、ボールがどう転がっていくのかわからないけれど、それがかえって面白かったです。



自分が投げたボールが白のボールに近づけた時の達成感は、とても嬉しいです。相手のチームに抜かされるとがっかりするけれど、ポッチャは皆で一緒になってプレーできるし、盛り上がりやすいので、楽しいです。

2020

オリパラ教育推進校
伊豆総合高等学校



地域とつながり
地域に学ぶことが
未来をつくる力に



静岡県立伊豆総合高等学校は、体験的・実践的な学習を通じ、地域社会の産業・文化・歴史について理解し、その発展に貢献できる人材を育てるという目標を掲げる、ユネスコスクール加盟校。清掃ボランティアなど、地域と連携した様々な活動に積極的に取り組んでいる。また学校が日本競輪選手養成所や日本サイクリススポーツセンターと近く、自転車競技部はそれらの施設で練習を行なうなど、以前より自転車競技と縁が深いことから、多くの生徒が地元開催のオリンピック・パラリンピックに参画できるよう、大会に関連する教育活動を展開。学校連携プログラムにも参加し、希望者はオリンピックのトラック・レースを観戦した。

『デイ・カウンター』ボードの制作

2016年6月15日(水)
伊豆箱根鉄道修善寺駅

2016年6月15日(水)に、伊豆総合高等学校建築工学科2・3年生の有志11人が製作した『デイ・カウンター』ボードの除幕式を実施した。伊豆半島産のヒノキ材を使用し、伊豆ペロドロームの木製走路をイメージしたボードの右上には、当大会開催までの日数を数えるモニターを設置した。



木製フォトスタンドの制作

2016年10月19日(水)
伊豆総合高等学校

伊豆総合高等学校電気電子工学科の学生有志6人が制作した、オリンピック・パラリンピック関係の写真やポストカードの展示に使う木製フォトスタンドの伊豆市への引き渡し式を開催した。木製フォトスタンドは、伊豆市産の木材にレーザー刻印をしたもので、東京2020大会の開催機運の醸成を目的に制作されたものである。



総合学習

2020年1月16日(木)、2021年6月24日(木)
伊豆総合高等学校

伊豆総合高校では、生徒にオリンピック・パラリンピックを身近に感じてもらい、東京2020大会への参画を促すために、総合的な学習の時間のなかで、プリチストーンサイクル(株)飯島誠さんによる特別授業を開催した。オリンピック3大会出場経験、自転車競技の魅力を分かりやすく生徒たちに伝えてくれた。



学校連携観戦プログラム

2021年8月7日(土)8日(日)
伊豆ペロドローム

東京2020組織委員会が子どもたちに対して、会場観戦を通して、スポーツの素晴らしさを体験し、一生の財産として、心に残る機会を提供する学校連携プログラム。観戦した約80人の生徒たちは、世界トップレベルの選手たちの姿を見て大きな拍手を送っていた。



シティドレッシング(都市装飾)



東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会開催まで、ちょうどあと3か月となった2021年4月23日(金)から、横断幕やのぼり旗によるシティドレッシング(都市装飾)を伊豆市内の各所で開始した。初日には、認定こども園あゆのさとの園児約40人が、横断幕とのぼり旗の運搬や設置を手伝った。大型連休を前に、修善寺駅の各出入口や修善寺橋などに大会らしい装飾を行なうことで、多くの市民や伊豆市を訪れる人たちへと開催地であることを周知し、さらなる機運の醸成を図った。



設置枚数

設置場所	のぼり (600mm×1800mm)	横断幕 (4500mm×900mm)	タペストリー (400mm×600mm)
修善寺駅及び市道	38枚	10枚	33か所
修善寺橋	—	8枚	—
修善寺IC	30枚	16枚	—
松原公園付近	30枚	16枚	—
中伊豆小学校前	—	6枚	—
中伊豆 下白岩	15枚	5枚	—
天城会館及び国道	10枚	4枚	30か所
計	123枚	65枚	96枚

修善寺駅及び市道



修善寺橋



修善寺IC



松原公園付近



中伊豆小学校前



中伊豆 下白岩



天城会館及び国道



サイクリング村

東京2020大会自転車競技伊豆開催に伴い、伊豆市内の『ラフォーレリゾート修善寺』がオリンピックサイクリング村として使用された。大会開催前の2021年7月13日(火)から大会終了後の8月10日(火)までの期間、選手や大会関係者たちが滞在した。



Message 担当者の声



伊豆市東京オリンピック・パラリンピック推進課
あさだ たかよし
浅田 崇義

市民の皆さんや伊豆市を訪れる観戦客の皆さんに少しでも、オリンピック・パラリンピックの高揚感を味わっていただきたく、市内各所にのぼり旗や横断幕を設置しました。のぼり旗や、横断幕の設置中に声を掛けてくれる人が多く、元気をもらいました。

2020

大会会場花装飾



おもてなしの心を
色鮮やかな
花々にのせて



ミニひまわりの育成本数 オリンピック

修善寺中学校	300本
天城中学校	105本
中伊豆中学校	150本
土肥小中一貫校後期課程	45本



アサガオの育成鉢数 オリンピック

修善寺小学校	100鉢
熊坂小学校	120鉢
修善寺南小学校	120鉢
修善寺東小学校	120鉢
中伊豆小学校	120鉢

パラリンピック

天城小学校	120鉢
土肥小中一貫校前期課程	120鉢

東京2020大会自転車競技に出場する選手や関係者、観客をおもてなしするため、伊豆市は大会期間中、市内の各所をミニひまわりで装飾した。ミニひまわりは2021年6月から7月にかけて市内全中学校3校と小中義務教育学校後期課程1校の生徒が育て、修善寺駅やラフォーレリゾート修善寺周辺へと設置した。また、市内の全小学校6校と小中義務教育学校前期課程では、東京2020大会組織委員会による『フラワーレーンプロジェクト』に参画し、2021年5月から児童たちがアサガオを育てた。



Message 先生の声



中伊豆小学校 教頭
すぎやま ひろつぐ
杉山 宏次

子どもたちが種から育てるアサガオ。『フラワーレーンプロジェクト』として、競技会場の手荷物検査エリアに飾られます。多くの日本人の心に存在しているアサガオは『日本の夏の象徴』として愛されています。そして子どもたちにも育てやすく、馴染みのある花でもあります。夏の初めから子どもたちが心を込めて育てるアサガオには、子どもたちのメッセージが添えられ、笑顔を届けることでしょうか。東京2020大会に関わる喜びは子どもたちの未来へ繋がると思います。

児童の声



学校の友達とアサガオを育てることが出来るとても光栄です。一人では出来ない事を、みんなと一緒に出来るのがとても嬉しいです。東京2020大会に直接来られない人々も、テレビで見てもらい元気付けることができればいいと思っています。沢山の綺麗なアサガオを咲かせて、沢山の人の笑顔にして、このアサガオで選手の人たちを応援したいです。友達や、家族とアサガオを飾った会場を見に行くのもとても楽しみです。



綺麗なアサガオを育てることで、沢山のやる気を届けてみたいです。オリンピック・パラリンピックの選手に、学校みんなで育てたアサガオを通じて「頑張れ!」というメッセージを伝えたいです。選手の皆さんが沢山した練習の成果を、思いっきり発揮してもらえたら良いと思います。アサガオの花たちを皆さんに見てもらおうと、応援をしてもらえたら良いと思います。そのためには綺麗なアサガオを咲かせて、学校みんなと楽しく応援したいと思います。

担当者の声



伊豆市東京オリンピック・パラリンピック推進課 課長
もりしま つとむ
森嶋 哲男

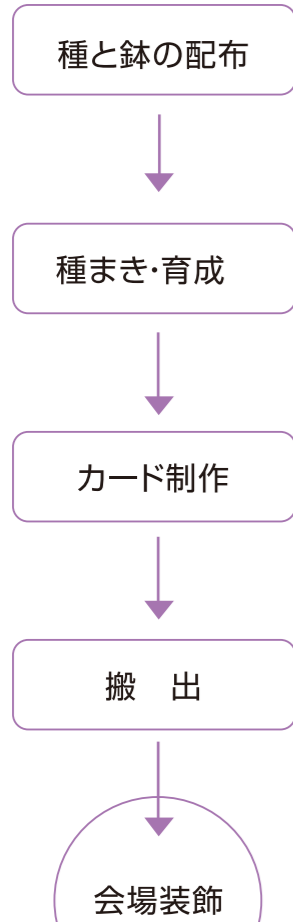
『ひまわり』と『あさがお』の育成に携わっていただいた皆さんの言葉が印象的でした。伊豆市を訪れる観客の皆さんや選手が笑顔で元気に過ごしていただけるよう、修善寺駅やサイクリング村、自転車競技会場を彩りました。市民の皆さん、児童・生徒の皆さんが丹精込めて育てた花が、伊豆市を訪れた皆さんの心に留まっていることを願います。

アサガオ(小学校)

アサガオの花によるおもてなしは、東京2020大会組織委員会による『フラワーレーンプロジェクト』の一環として行なわれ、伊豆市内の小学校(全6校)と小中義務教育学校前期課程が参加し、1校あたり100~120鉢を育てた。鉢には児童たちが手書きした温かいメッセージやイラストが添えられ、大会会場の手荷物検査エリアなどを彩った。

参加校

- 修善寺小学校
- 熊坂小学校
- 修善寺南小学校
- 修善寺東小学校
- 中伊豆小学校
- 天城小学校
- 土肥小中一貫校前期課程



ミニひまわり(中学校)

ミニひまわりは市内の中学校(全3校)と小中義務教育学校後期課程にて、200プランターに600本が育てられた。『笑顔』というひまわりの花言葉に歓迎の気持ちを込めて、オリンピック期間中は会場への玄関口である修善寺駅や、サイクリング村となったラフォーレリゾート修善寺周辺へ設置し、観客や選手、大会関係者を迎えた。

参加校

- 修善寺中学校
- 天城中学校
- 中伊豆中学校
- 土肥小中一貫校後期課程

※パラリンピック期間中に装飾したミニひまわりは市民有志が育てた(P.67参照)

